

蚊媒介感染症について

蚊媒介感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症のことです。主な蚊媒介感染症にはウイルス疾患であるデング熱、ジカ熱、チクングニア熱、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱、原虫症であるマラリアなどがあります。

特に、デング熱やジカ熱等は日本国内に広く分布するヒトスジシマカが媒介することが知られており、海外で感染した人が帰国または入国する例を起点として国内での感染が拡大する可能性があります。各自ができる対策を心がけ、蚊を増やさず、蚊に刺されないように気をつけましょう。

<蚊を増やさないようにするには>

・蚊の幼虫の発生源を作らないように注意しましょう。蚊は水辺に産卵します。1週間に1度は自宅周辺のバケツなどの容器に溜まった雨水を捨てるなど、住まい周辺の水たまりを無くしましょう。

- ・成虫が潜む場所を無くすため、自宅周辺の下草を刈り取りましょう。

＜蚊に刺されないようにするには＞

- ・屋外では長袖、長ズボンを着用し、裸足でサンダル履きは避けるなど、肌の露出をできるだけ避けましょう。

- ・薄手の衣類の上からや、足首、首筋などの小さな露出面でも刺されることがあります。虫除け剤を適切に使用しましょう。

- ・網戸や扉の開閉を減らし、家の中に蚊が入ってくるのを防ぎましょう。

- ・夏休みなどで海外の流行地に出かける際は、蚊に刺されないようにしましょう。

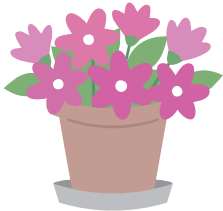
ジカ熱・デング熱の運び屋

ヒトスジシマカの発生源を叩け!

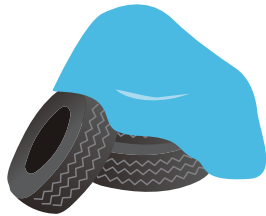


- 蚊の発生を減らすために、定期的に幼虫が発生しそうな周辺の水たまりの除去・清掃をしましょう!
- 下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう!

水たまり除去・清掃



植木鉢の皿



雨除けのブルーシートや古タイヤに溜まった水たまり



雨ざらしの用具



屋外に放置された空きビン・缶・ペットボトル

下草刈り



風通しの悪いやぶ・草むら

公園、学校、寺社、空海港、駅などの施設を管理されている方もご協力をお願いします!



詰まった排水溝

●なぜ対策が必要?

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

●ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?

感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。



[ヒトスジシマカ]

背中にも1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林・竹林・藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50~100m程度です。

ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。

ジカ熱 厚労省 検索



デング熱 厚労省 検索

